

## 学習指導案（国語科）

1 対象：2年1組（進学コース）、2年7組（国際コース）

2 単元名：評論（Ⅲ） 隈研吾「存在としての建築」

3 単元について

### （1）単元の目標

- ・評論の基本的な読み方を習得する。
- ・文章の内容を的確に読みとり、本文の表現を踏まえて筆者の意図を正しく理解できる。
- ・人間にとっての本当の豊かさについて考えを深める。
- ・現代評論に頻出するカタカナ語や語句の意味を理解し、語彙を豊かにする。

### （2）教材観

この教材は、緊密な評論の構成で書かれている。序論で筆者の主張を述べることで、本文全体の主題を示しており、そしてその主題について具体的でわかりやすい説明がなされている。このどンドン具体的に掘り下げていく中には、接続詞が多く見られ、コンクリートの性質を順に説明することでわかりやすい構造になっている。だが、接続詞の意味も含めて流れを理解させることが必要であると考え。緊密な構造ではあるが、同時に抽象的な主題→具体的な説明・論証→結論で命題に戻るといような典型的な評論文の構成でもあるため、流れは掴みやすいと考える。

建築を通して20世紀を批評したうえで、人間の豊かさについて言及することが述べている。21世紀を生きる生徒にも筆者の考えを通し、考えたこと感じたことを自分の言葉で表現させたい。

### （3）生徒観

#### 〈2-1〉

男子14名、女子21名、合計35名の進学コース

板書の速度がゆっくりであるため、板書の分量や速度に気をつける必要がある。また、わかりにくい語句が多いので事前に調べてくるよう指示する。クラスの人数が多いため、音読の分量や、発言の機会が偏ってしまわないように心掛ける。

#### 〈2-7〉

男子6名、女子16名、(留学3名)、現在22名の国際コース

1組と同じく、板書には注意が必要。しかし、人数が1組より少ないため、全員が音読や発言の機会を得ることができる。また、1組と同様に語句の確認を予習させ、本文の理解を深めさせる。

#### (4) 指導観

筆者の隈研吾は、最近新国立競技場の設計で話題になったので、生徒の関心を引き出すために、新国立競技場の画像や資料を用意し、建築や筆者に興味を持たせる。そして、板書は分量が多くなり過ぎないように、できるだけポイントを押さえて板書させる。その際、必要な箇所は文章、説明的な補足は箇条書きといったようになるべく板書量を減らすことに留意する。また、接続詞や語句にも注目・確認しながら内容に触れていく。

#### 4 単元の評価基準

| 国語への<br>関心・意欲・態度  | 読む能力  | 言語についての<br>知識・理解・技能   |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりにくい語句や表現について事前に調べている。</li> <li>・20世紀建築に対する筆者の意見を踏まえて、人間の豊かさについて自分の意見を述べようとしている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を意味段落で分け、その段落の要旨をつかめている。</li> <li>・コンクリートによって表象を操作することの問題点を正しく読み取れている。</li> <li>・建築を存在として捉え直すとはどういうことか理解できている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全文を正しく音読できる。</li> </ul> |

#### 5 単元の指導計画

| 時         | 学習活動  | 指導上の留意点   | 評価基準  |
|-----------|---|---|---|
| 1         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者について確認する。(画像を見る)</li> <li>・形式段落を記入</li> <li>・全文一読</li> <li>・意味段落を確認</li> <li>・第一段落を読解する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新国立競技場の画像を見せる。</li> <li>・形式段落ごと、列ごとに音読させる。</li> <li>・意味段落を確認する。</li> <li>・第一段落を読解する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の構造と内容を理解しようとしている。</li> </ul>   |
| 2<br>(本時) | <ul style="list-style-type: none"> <li>○形式段落③～⑥(第二段落)を読解する。</li> <li>・形式段落③～⑥を音読する。</li> <li>・接続詞に沿ってコンクリートの特長・性質をまとめる。</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒を指名し、音読させる。</li> <li>・接続詞に注目させながらコンクリートの特長・性質をまとめさせる。</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・正確に本文をよむことができる。</li> <li>・本文の内容を理解し、コンクリートの特長・性質をまとめることができる。</li> </ul> |

|   | ☆表層の自由とはどういうことか考える。  | ☆表層の自由とはどういうことか考えさせる。  | ・段落の論点を捉えている。  |
|---|--|--|--|
| 3 | <p>○形式段落⑦～⑪（第三段落）を読解する。</p> <p>・形式段落⑦～⑪を音読する。</p> <p>☆「さびしい時代」とはどういうことか考える。</p> <p>☆コンクリート建築と木造建築を比較し整理する。</p> <p>☆「コンクリートが表象と存在の分裂を許容する」とはどういうことか考える。</p> | <p>・生徒を指名し、音読させる。</p> <p>☆「さびしい時代」とはどのようなことであると書いてあるか問う。</p> <p>☆コンクリート建築と木造建築の特徴を挙げさせる。表を用い、特徴を整理する。</p> <p>☆「コンクリートが表象と存在の分裂を許容する」とはどういうことか考えさせる。<br/>(表象するとはどういうことか問う。)</p> | <p>・正確に本文をよむことができる。</p> <p>・内容に関する問いについて本文を理解し抜き出すことができる。</p> <p>・内容を理解し、要点を整理できている。</p> <p>・内容について自分の言葉で表そうとしている。</p> |
| 4 | <p>○形式段落⑫～⑮（第四段落）を読解する。</p> <p>・形式段落⑫～⑮を音読する。</p> <p>・「景観論自体が不十分であった」と筆者が述べるのは何故か考える。</p> <p>○人間の豊かさについて考える。</p>   | <p>・生徒を指名し、音読させる。</p> <p>・形式段落⑬について言葉の説明をする。</p> <p>☆「景観論自体が不十分であった」と筆者が述べるのは何故か考えさせる。</p> <p>・20世紀に対する筆者の考えを踏まえて、人間の豊かさとはどのようなものであるか考える。</p>                                  | <p>・正確に本文をよむことができる。</p> <p>・段落の内容を理解しようとしている。</p> <p>・本文の内容を整理、理解できている。</p> <p>・筆者の考えを読み取り、自らの考えを表そうとしている。</p>         |

本時案（第2時）

本時の目標

接続詞に注目して、内容を理解できる。

段落ごとに内容を整理し、コンクリートの特長（利点）をまとめる。

本時の展開

| 時間 | 学習活動   | 指導上の留意点  | 評価<br>(評価の観点)   |
|----|--|--|---|
| 5  | <p><b>導入</b><br/>前時の確認をする。</p> <p>本時の目標を明示する。</p>  | <p>ノートを確認させる。</p> <p>第一段落で述べられていたことを振り返る。</p> <p>接続詞に注目しながら段落ごとに内容を整理し、コンクリートの特長（利点）をまとめていくことを伝える。</p>   |   |
| 5  | <p><b>展開</b><br/>形式段落3～6を音読する。</p>   | <p>生徒を指名し音読させる。（列ごと）</p> <p>言葉の意味を確認しながら読むよう指示する。</p>  | <p>正確に本文を読むことができる。</p>  |
| 35 | <p>3～6段落を読解する。<br/>(段落ごとのコンクリートの特長を整理する。)</p> <p>語句の意味を確認する。</p> <p>「表層の自由」とはどういうことか考える。</p> | <p>段落ごとのコンクリートの特長を聞いていく。<br/>(教科書から抜き出して答えさせる)</p> <p><b>【指名】</b></p> <p>③「まず」どんな特長があると書かれているか。→場所を選ばない。<br/>・普遍的とはどういう意味か問う<br/>☆<u>コンクリートのどのような点が「普遍的」であるのか問う。</u></p> <p>④「しかも」どんな特長があるか。→どんな造型をも可能にする自由を有している。<br/>・「一応図面としての整合性はつく」とはどういうことか考えさせる。</p> <p>⑤「さらに」どんな特長があると書かれているか。→表層の自由<br/>☆<u>表層の自由とはどういうことか問う</u></p> <p>⑥この段落では、コンクリートのことを何と比喩しているか。<br/>→万能の素材</p> | <p>本文の内容を理解し、整理できるか。<br/>接続詞に着目して、内容を掴めているか。</p> <p>語句の意味を理解しているか。</p> <p>本文の内容をしっかりと理解し、言い換えの表現がわかっているか。</p> |
| 5  | <p><b>まとめ</b><br/>第二段落についてまとめる。</p>  | <p>第二段落の要点をまとめる。</p> <p>第三段落を一読してくるよう指示。<br/>第三段落の概要を伝えておく。</p>  | <p>段落の要点を掴めているか。</p>  |